

ジャパンラグビー トップリーグ

ジャパンラグビー トップリーグ 2018-2019 シーズン 大会概要および日程決定のお知らせ ～8月31日(金)トップリーグ開幕、新たにカップ戦も開催～

日本ラグビーの最高峰リーグ「ジャパンラグビー トップリーグ」の 2018-2019 シーズン大会概要および日程が決定いたしましたので、お知らせいたします。

今シーズンは、8月31日(金)～12月15日(土)の日程で、「ジャパンラグビー トップリーグ 2018-2019」、11月10日(土)～2019年1月19日(土)の日程で、新たな公式戦として「ジャパンラグビー トップリーグ カップ 2018-2019(仮称)」を開催いたします。

「ジャパンラグビー トップリーグ 2018-2019」は、16 チームを2つのカンファレンスに分け、各カンファレンス1回戦総当たりのリーグ戦およびカンファレンス順位に応じた、総合順位決定トーナメントを行い、最終順位を決定いたします。なお、第56回日本ラグビーフットボール選手権大会の詳細については、決定次第お知らせいたします。

今シーズンは、2018年7月末に完成を予定している、岩手県の鶴住居復興スタジアム(仮称)でのトップリーグ初開催をはじめ、ラグビーワールドカップ 2019 日本大会開催都市など全国にて開催し、トップリーグの熱い戦いを届けてまいります。

ジャパンラグビー トップリーグ 2018-2019 シーズン スケジュール

スケジュール		2018年										2019年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
トップリーグ	リーグ戦/ カップ戦					8/31(金)～12/15(土) ジャパンラグビー トップリーグ 2018-2019								
									11/10(土)～25(日)・1/13(日)～19(土) ジャパンラグビー トップリーグ カップ 2018-2019(仮称)					
	公式行事		● 5/30(水)予定 新人研修会			● 8/20(月)予定 プレスカンファレンス					● 12/16(日)予定 年間表彰式			
日本代表/ スーパーラグビー				6/9(土),16(土),23(土) リポビタンDチャレンジカップ2018					● 11/3(土) 日本代表ニュージーランド戦					
		2～8月 スーパーラグビー							● 11/17(土) 日本代表イングランド戦					

■ ジャパンラグビー トップリーグ 2018-2019

- ジャパンラグビー トップリーグ 2018-2019 2018年8月31日(金)～2018年12月15日(土)
- ジャパンラグビー トップリーグ カップ 2018-2019(仮称) 2018年11月10日(土)～2019年1月19日(土)
- 公式行事
 - 新人研修会 5月30日(水)＜予定＞
 - プレスカンファレンス 8月20日(月)＜予定＞
 - 年間表彰式 12月16日(日)＜予定＞

■ トピックス

- 2018年7月末に完成予定の鶴住居(うのすまい)復興スタジアム(仮称)[岩手県]にてトップリーグ初開催
- ラグビーワールドカップ 2019 日本大会開催都市でのトップリーグ開催
- 改修後の熊谷スポーツ文化公園(県営熊谷ラグビー場)にて開催

ジャパンラグビー トップリーグ 2018-2019 大会概要

■主催 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会／ジャパンラグビー トップリーグ

■主管 関東ラグビーフットボール協会
 関西ラグビーフットボール協会
 九州ラグビーフットボール協会
 開催地都道府県ラグビーフットボール協会

■日程 2018年8月31日(金)～2018年12月15日(土)

■参加チーム数 16チーム

■競技規則 当該年度のワールドラグビー競技規則に従って実施される
 試合時間は40分ハーフとし、ハーフタイムは12分以内とする

■大会方式 2カンファレンスのリーグ戦および総合順位決定トーナメント

【リーグ戦】

16チームを8チームずつ2カンファレンス(レッド・ホワイト)に分け、各カンファレンス1回戦総当たりのリーグ戦(各チーム7試合)を行う。

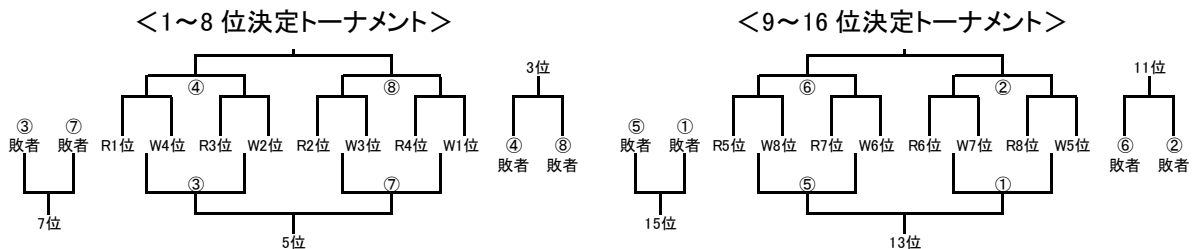
レッドカンファレンス	ホワイトカンファレンス
サントリーサンゴリアス(1位)	パナソニック ワイルドナイツ(2位)
トヨタ自動車ヴェルブリッツ(4位)	ヤマハ発動機ジュビロ(3位)
神戸製鋼コベルコスティーラーズ(5位)	東芝ブレイブルーパス(6位)
NEC グリーンロケット(8位)	リコーブラックラムズ(7位)
NTTコミュニケーションズシャイニングアークス(9位)	キヤノンイーグルス(10位)
豊田自動織機シャトルズ(12位)	クボタスピアーズ(11位)
宗像サニックスブルース(13位)	コカ・コーラレッドスパークス(14位)
日野レッドドルフィンズ(TCL 2位)	Honda HEAT(TCL 1位)

※各カンファレンスは、前年度の順位をもとに組み分ける。

※()内はジャパンラグビー トップリーグ 2017-2018 最終順位、TCLはトップチャレンジリーグ

【総合順位決定トーナメント】

各カンファレンス1～4位の計8チームによる1～8位決定トーナメント、各カンファレンス5～8位の計8チームによる9～16位決定トーナメントの2つのトーナメントに分かれて順位決定トーナメントを行う。1～8位トーナメントの勝者を、ジャパンラグビー トップリーグ優勝とする。



■試合数 リーグ戦: 合計 56 試合
 総合順位決定トーナメント: 合計 24 試合

■順位決定の方法
 <リーグ戦>

- 【1】順位の決定は勝ち点制を採用する。
- 【2】各試合の勝ち点は、勝ち4点・引き分け2点・負け0点とする。
- 【3】また、ボーナス点として以下の勝ち点を与える。
 - (1) 負けても7点差以内ならば、勝ち点1を追加
 - (2) 勝敗に関係なく、3トライ差以上獲得したチームに、勝ち点1を追加
- 【4】全試合終了時点でカンファレンスごとに最も勝ち点の多いチームを1位とし、同様に2位から8位を決定する。
- 【5】全試合終了時点で勝ち点と同じ場合、次の各号の順序により順位を決定する。
 - (1) リーグ戦全試合の勝利数の多いチームから上位とする。
 - (2) リーグ戦全試合の得失点差の多いチームから上位とする。
 - (3) 当該チーム同士の試合で、勝ち点の多いチームを上位とする。
 - (4) 3チーム以上が当該チーム同士の試合でも同じ勝ち点の場合、当該チーム同士の試合で得失点差の多いチームから上位とする。
 - (5) リーグ戦全試合の総トライ数が多いチームを上位とする。
但し、不戦勝などの理由で対象試合数が少ない場合はトライ数(1試合平均)を7試合に換算して比較する。
 - (6) リーグ戦全試合のトライ後のゴール数が多いチームを上位とする。ペナルティトライの場合はゴール数にカウントする。
 - (7) 当該チームで抽選を実施。

<総合順位決定トーナメント>

- 【1】同点の場合は、以下の各号の順序により勝者を決定する。
 - (1) 試合終了5分後に10分間のサドンデス方式の延長戦を実施し、先に得点(ドロップゴール、ペナルティゴール、またはトライ)したチーム
 - (2) (1)でも勝負がつかない場合は、キッキングコンペティションを実施し、勝利したチーム
- 【2】トップリーグ総合順位決定トーナメント(1~8位決定トーナメント)における勝者を優勝、敗者を準優勝とする。その他総合順位決定トーナメントの結果をもって16位まで決定する。

■入替戦

【入替戦】

トップリーグの最終順位が13~16位のチームは、トップチャレンジリーグの1~4位チームと入替戦を行う。

- (1) トップリーグ13位×トップチャレンジリーグ4位
- (2) トップリーグ14位×トップチャレンジリーグ3位
- (3) トップリーグ15位×トップチャレンジリーグ2位
- (4) トップリーグ16位×トップチャレンジリーグ1位

※入替戦で同点の場合には、トップリーグ所属チームがトップリーグ残留となる。

■表彰

【チーム表彰】

ジャパンラグビー トップリーグ 2018-2019の順位によりそれぞれ次のとおり表彰し記念品を授与。

- ① 優勝: トップリーグ杯、チャンピオンフラッグ
- ② 準優勝: トップリーグ楯
- ③ 3位: トップリーグ楯
- ④ フェアプレー・チーム賞: トップリーグ記念品
 - (1) イエローカード1枚を3ポイント、レッドカード1枚を10ポイントとして反則数に加算する。
 - (2) 出場停止処分を受けたチームは、受賞の対象外とする。

【個人表彰】

●トップリーグ個人表彰

トップリーグにおいて活躍した個人に対し、次のとおり表彰し記念品を授与する。

- ① MVP
- ② 得点王
- ③ 最多トライゲッター
- ④ ベストキッカー
- ⑤ ベストフィフティーン
- ⑥ ベストホイッスル

【その他表彰】

●マン・オブ・ザ・マッチ

リーグ戦全試合において、各試合で最も活躍した選手を当該試合のマッチコミッショナーがマン・オブ・ザ・マッチとして選出し、記念品を授与する。

●シーズン個人表彰

トップリーグはトップリーグが別途定める方法により、新人賞を選出、またファン投票により個人賞を選出し表彰することができる。

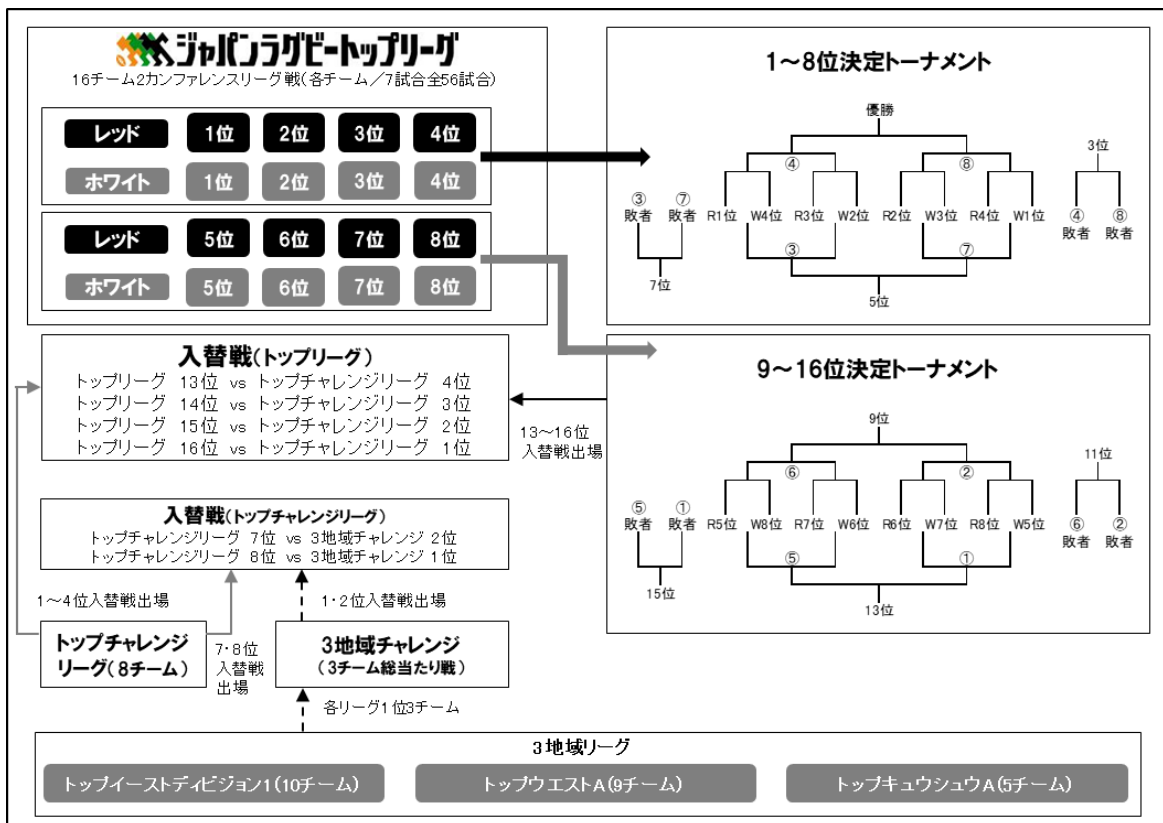
●功労者表彰

①トップリーグはトップリーグの活動を通じ日本ラグビーの発展に功労のあった者に対し、記念品等を贈呈して表彰を行うことができる。

② ①項の表彰を受ける者は、トップリーグの推薦に基づき選考委員会にて決定する。

■チケット ※詳細は5月下旬発表予定

■ジャパンラグビー トップリーグ 2018-2019 の仕組みについて



※順位決定戦の対戦・会場は、決定次第お知らせいたします。

ジャパンラグビー トップリーグ カップ 2018-2019(仮称) 大会概要

- 主 催 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会／ジャパンラグビー トップリーグ
- 主 管 関東ラグビーフットボール協会
 関西ラグビーフットボール協会
 九州ラグビーフットボール協会
 開催地都道府県ラグビーフットボール協会
- 日 程 2018年11月10日(土)～2019年1月19日(土)
- 参加チーム数 16チーム
- 競技規則 当該年度のワールドラグビー競技規則に従って実施される
 試合時間は40分ハーフとし、ハーフタイムは12分以内とする
- 大会方式 プール戦および総合順位決定トーナメント
【プール戦】
 16チームを4チームずつ4プール(A・B・C・D)に分け、各プール1回戦総当たりのプール戦(各チーム3試合)を行う。

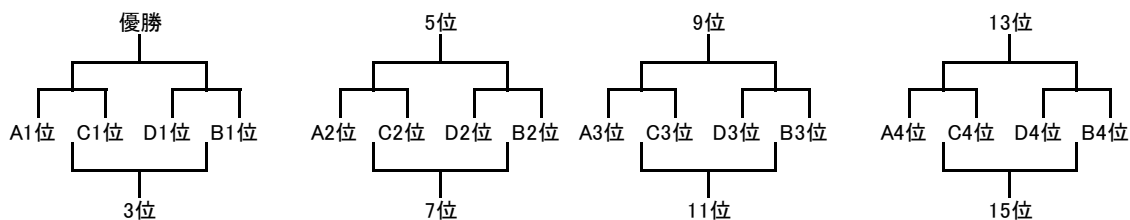
プール A	プール B
サントリーサンゴリアス (1位)	パナソニック ワイルドナイツ(2位)
リコーブラックラムズ(7位)	NEC グリーンロケッツ (8位)
NTTコミュニケーションズシャイニングアークス(9位)	キャノンイーグルス(10位)
Honda HEAT (TCL 1位)	日野レッドドルフィンズ(TCL 2位)
プール C	プール D
ヤマハ発動機ジュビロ(3位)	トヨタ自動車ヴェルブリッツ(4位)
神戸製鋼コベルコスティーラーズ(5位)	東芝ブレイブルーパス(6位)
クボタスピアーズ(11位)	豊田自動織機シャトルズ(12位)
宗像サニックスブルース (13位)	コカ・コーラレッドスパークス(14位)

※各プールは、前年度の順位をもとに組み分ける。

※()内はジャパンラグビー トップリーグ 2017-2018 最終順位、TCL はトップチャレンジリーグ

【総合順位決定トーナメント】

各プールの順位に応じて、順位ごとのトーナメントを行う。



- 試合数 プール戦: 合計 24 試合
 総合順位決定トーナメント: 合計 16 試合

■順位決定の方法

<プール戦>

- 【1】順位の設定は勝ち点制を採用する。
- 【2】各試合の勝ち点は、勝ち4点・引き分け2点・負け0点とする。
- 【3】また、ボーナス点として以下の勝ち点を与える。
 - (1) 負けても7点差以内ならば、勝ち点1を追加
 - (2) 勝敗に関係なく、3トライ差以上獲得したチームに、勝ち点1を追加
- 【4】全試合終了時点でプールごとに最も勝ち点の多いチームを1位とし、同様に2位から4位を決定する。
- 【5】全試合終了時点で勝ち点と同じ場合、次の各号の順序により順位を決定する。
 - (1) プール戦全試合の勝利数の多いチームから上位とする。
 - (2) プール戦全試合の得失点差の多いチームから上位とする。
 - (3) 当該チーム同士の試合で、勝ち点の多いチームを上位とする。
 - (4) 3チーム以上が当該チーム同士の試合でも同じ勝ち点の場合、当該チーム同士の試合で得失点差の多いチームから上位とする。
 - (5) プール戦全試合の総トライ数が多いチームを上位とする。
但し、不戦勝などの理由で対象試合数が少ない場合はトライ数(1試合平均)を3試合に換算して比較する。
 - (6) リーグ戦全試合のトライ後のゴール数が多いチームを上位とする。ペナルティトライの場合はゴール数にカウントする。
 - (7) 当該チームで抽選を実施

<総合順位決定トーナメント>

- 【1】同点の場合は、以下の各号の順序により勝者を決定する。
 - (1) 試合終了5分後に10分間のサドンデス方式の延長戦を実施し、先に得点(ドロップゴール、ペナルティゴール、またはトライ)したチーム
 - (2) (1)でも勝負がつかない場合は、キッキングコンペティションを実施し、勝利したチーム
- 【2】総合順位決定トーナメントの結果をもって16位まで決定する。

■表彰

※調整中

■チケット

※詳細は5月下旬発表予定